

平成 30 年 4 月 27 日

長野県感染対策研究会  
代表世話人 本田孝行  
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会  
担当者 高見沢 将

## 信州インフェクションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS) による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告 ～2018 年 3 月データについての報告～

(データ集計日：2018 年 4 月 27 日 集計対象施設数：56 施設)

2018 年 3 月の VRSA、多剤耐性アシネトバクター、CRE(NDM)の分離はありませんでした。上記に示す薬剤耐性菌は非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### <MRSA の分離状況について>

長野県全体の分離率は 7.03 %でした。JANIS での全国の実分離率は 6.31 % (2017 年 7 月～9 月 四半期報) であり、全国と比較し、やや高い傾向であると考えられます。南信地区は依然分離率が高い状況が続いており、中信地区では分離率のわずかな上昇を認めました。

### <多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

2018 年 3 月における多剤耐性緑膿菌の検出はありませんでした。JANIS での全国の実分離率は 0.05 % (2017 年 7 月～9 月 四半期報) であり、全国と比較すると低い状況にあると考えられます。なお、1 例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

### <第三代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は2.67 %でした。県全体の分離率は横ばいで、各地区共に大きな変化は認めませんでした。JANISでの全国の実分離率は2.32 % (2017年7月～9月 四半期報) でした。JANIS での判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

お問い合わせ先 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子 TEL; 0263-37-3493、 e-mail; erika@shinshu-u.ac.jp
---